

海外安全対策情報

【定期報告：7月～9月】

在ケープタウン領事事務所

1 西ケープ州における犯罪傾向

- (1) 市内では引き続き軽犯罪が多発しており、注意が必要である。
- (2) 在ケープタウン領事事務所管轄地域の2016年7月～9月における邦人に対する被害の報告件数は3件であった。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 殺人

ア 邦人被害者情報なし。

(2) 強盗

邦人被害

ア 7月24日夜、邦人観光客が市内を歩いていたところ、男に声を掛けられ付いていった。男性は物陰で突然ナイフを突きつけられ、所持していた携帯電話を奪われた。

その他の被害事件

ア ケープタウン大学構内や大学周辺（モーブレー、オブザーバトリー）での窃盗・強盗事件が急増している。幸い怪我人はほとんどいないが、犯人は脅迫のためにナイフや銃などを使用している。

イ 7月17日午後8時頃、ケープタウン市クレアモントを歩いていた男性がナイフを持った男らに囲まれ所持していた貴重品類を奪われた。男性は抵抗したため、犯人らの反撃にあい腕に切り傷を負った。

ウ 8月7日午後3時頃、ケープタウン市ミュージンバーグの海岸を散歩していた男女が少年と思われる3人組の男にナイフを突きつけられ所持していたダイヤの指輪を奪われた。ケープアーガス紙では同地域で7月にも同様の事件があったと報道している。警察は単独で海岸を歩かないよう注意を呼びかけている。

エ 8月11日、ケープタウン市リトリート付近の主要幹線道路（M5）を車で運転しており、信号で停車したところ、レンガの塊を突然車に向けて投げつけられ、割られた窓からバッグを奪われた。スマッシュ&グラブと呼ばれる手法でケープタウンではM5の他、M7道路でも同様の犯罪が車の少ない時間帯に行われている。

(3) 強姦

ア 邦人被害者情報なし。

(4) その他

邦人被害

ア 8月25日午後6時頃、邦人旅行者がＡＴＭ（ケープタウン中央駅前のＡＢＳＡビル1階にあるＡＴＭ）で現金を引き落とそうとしているところ、女にＰＩＮ番号を盗み見られ、加えて横から男が勝手に画面を操作した。現場に居合わせたセキュリティにより、事態は収束した。同現場では同様の被害が頻繁に発生している。

イ 9月20日午後6時～8時頃、ステレンボッシュにてキャンプをしていた邦人観光客がキャンプサイトに置いていたレンタサイクルとスニーカーを盗まれた。

その他の被害事件

ア 7月、配車アプリの「Uber」のドライバーがタクシーやミニバス（乗り合いバス）業者の襲撃を受けた事件が複数回起きた。原因はUberによる客の減少で、Uberの違法性を主張するデモも行われている。

イ 7月中旬より、大学の学費値上が発表されて以来、学生による全国的規模のデモが行われている。逮捕者も多数出ており、またこの影響で卒業式や講義が中止される事態となっている。

3 テロ・爆弾事件発生状況

特になし。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

特になし。

5 対日感情

概ね良好である。

6 日系企業の安全に関する諸問題

特になし。

7 日本人安全対策のためにとった具体的措置

(1) 在留邦人へのお知らせ等の発出

不定期ながらも、安全対策に役立つ情報を当事務所より「領事事務所からのお知らせ」としてメールを発出し、在留邦人に対して安全対策情報を発信している。

(2) その他の措置

常日頃より、当地在住の邦人等との意見交換を行い、当地での生活の安全情報の収集に努めている。